

学科 学年	M1	科目 分類	古典 Classical Japanese	講義 必修	後期 1 単位	学習教育 目標 1-A～E	担当	諏訪睦生 Suwa mutsuo
概 要	古典の随筆文学の代表である「徒然草」からよく知られている数編を選び、古文の読解力の基礎力を養う。平安時代の物語文学の中から、また国語に大きな影響を及ぼした漢文の読解力を付ける。以上の学習を通じてわが国の文学的伝統を理解し、豊かな教養を養い、より広い考察力を身に付ける。							
科目目標 (到達目標)	(1) 古文の読解力を養う。 (2) 漢文の読解力を養う。							
教科書 器材等	プリントによる教材							
評価の基準と 方法	2回の定期試験を中心に平素の学習状況から習熟達成度をみる。							
関連科目	1 学年から 4 学年までの各国語							
授業計画								
第 1回								
第 2回								
第 3回								
第 4回								
第 5回								
第 6回								
第 7回								
第 8回								
第 9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回								
第16回	『序段』音読、読解、古文の学び方 (一) かなづかいと発音、							
第17回	「折りふしの移り変わるこそ」(一) 音読、解釈、鑑賞、：(二) 辞書の引き方							
第18回	「 : 」(二) 解釈、鑑賞、 : (三) 古典文法「係り結び」							
第19回	「人の亡きあとばかり」解釈、鑑賞、古典の学び方(四)用言、助動詞の用法 (1)							
第20回	「亀山殿の御池に」解釈、鑑賞、古典の学び方 (五) 助動詞の用法 (2)							
第21回	「能をつかんとする人は」解釈、鑑賞、古典の学び方 (六) 助動詞の用法 (3)							
第22回	「平宣時巫朝臣」解釈、鑑賞、古典の学び方 (七) 助詞 後期中間試験							
第23回	漢文「訓読の基礎」訓読のきまり、返読文字および再読文字、書き下し文の書き方							
第24回	「守株」訓読、読解、語法の説明、「五十歩百歩」左に同じ、							
第25回	「塞翁馬」上に同じ、「朝三暮四」左に同じ							
第26回	「桃花源記」訓読、読解、鑑賞批評等							
第27回	「四面楚歌」上に同じ							
第28回	唐詩の鑑賞、王維、杜牧、孟浩然他							
第29回	： 杜甫							
第30回	： 李白							
オフィス アワー	火、水曜日の授業開始前および昼休み。金曜日の昼休み。							
備 考	授業内容は場合により変更することもある。							